

2007年度防災教育チャレンジプラン 最終報告書

記入日 20 年 1月 11日

1. 概要

実践団体名	社会福祉法人 藤山保育園	
連絡先	電話番号	0836—33—8861
プランタイトル	不審者対策・子どもを守る！自分を守る！	
目的	<p>保育士一人一人のスキルアップ。大切な子どもの命を守るためのノウハウの取得。</p> <p>園児が自分で身を守るためにできる護身術を身につける。</p>	
プランの概略	<p>専門家（警察や警備などの防犯・不審者対策の技術のある人）を招いての保育士への研修や実践できるノウハウを学び、子どもを守るためにどうすればいいかを考えて理解し行動に移せるようにする。</p> <p>子どもたちに自分の身を守る術や危険を察知する感覚を養うために、保育士による寸劇方式でわかりやすく理解させる。</p> <p>HP等で寸劇作成の脚本や創作・上演ポイントや実際の上演方式を映像などで公開する。</p>	
プランの対象	保育士・園児・保護者	
実施日時	<p>H19/9/4 講演会 H19/10/27 元気キッズ&ファミリーフェスタ防犯劇</p> <p>H19/12/21 クリスマス会防犯劇</p>	
実施場所	藤山保育園二階遊戯室	
連携した団体	連携団体の有無	有り
	連携した団体	ALSOK・藤山小学校・市役所・藤山コミュニティー
	連携したきっかけ・理由	<p>専門家による防犯に関するノウハウの取得。チラシなどの配布。</p> <p>防犯に関する地域の情報を教えてもらうため。</p>
	連携団体へのアプローチ方法	知人による紹介・警備契約会社 ALSOK
	連携団体との打ち合わせ回数	6回 計3時間

2007 年度 防災教育 チャレンジプラン 最 終 報 告 書

	連携団体との 役割分担	①ALSOK による当園の防犯の状況分析等 ②小学校での防犯に関する啓発。 ③地域にポスターやチラシを配布してもらう。
--	----------------	---

2. プランの立案過程

プラン立案 メンバーの 人数と役割	団体内の スタッフ総人数	26 人
	外部スタッフの 総人数	2 人
	主なメンバーの 役職・役割	保育士 5 人：劇作成、事務長 1 人：事務処理担当
プラン立案 に要した 日数・時間	立案期間	1 週間
	立案時間	7 時間
	上記のうち 打ち合わせ時間	会議等による所要時間 5 時間程度
プラン立案 で注意を 払った点	<p>不審者に対する対応には複雑な要素が絡みすぎていることにくわえ、女性中心の職場であることからの不安や子どもにいかにか大人 or 不審者の判断を教えていけばいいか？</p> <p>保育士の技術的・精神的にどうしていけばいいか？</p> <p>保護者への啓発をどのようにおこなっていけばいいか？</p> <p>保育であそびながら防犯に関連することを考える。</p>	
プラン立案 で苦労した点	<p>注意を払った点でもそうだが一番苦労したのが子どもにどうやって不審者を見分けるよう指導していくかが困難でした。</p> <p>まずは不審者に対する固定観念を払拭して、見分けるポイントを複雑にせずに単純化することに重点をおき、よりわかりやすく防犯劇をおこなうことに苦労しました。</p> <p>次に保護者への啓発をどのようにおこなえばよいか？</p> <p>どうやって現状を把握してもらい、子どもと一緒に防犯について考えてもらえるか？</p> <p>教育関係に勤めている方々はかなりの防犯に関する知識もあり興味も持っている方が多数をしめていたので協力して、どのように行っていくか？</p>	

2007 年度 防災教育 チャレンジプラン 最 終 報 告 書

3. 実践にあたっての準備

準備に関わった方と人数・役割	団体内のスタッフ総人数	26 人
	外部スタッフの総人数	2 人
	主なメンバーの役職・役割	保育士 10 人：劇作成、及び常時の防犯を意識した保育 事務長 1 人：事務処理担当
準備に要した日数・時間	準備期間	5 ヶ月
	準備総時間	1 ヶ月半
	上記の打ち合わせ回数	30 分×10 その他、電話・メールで打ち合わせ
教育関係への働きかけ	働きかけた教育関係者・機関名	藤山小学校、藤山中学校 国崎信江先生
	どのように働きかけたか	講演会のチラシの配布、ポスターの貼り出しを小中学校の校長先生にお願いし参加を呼びかけた。
	結果	講演会、防犯劇に多数の保護者・学校の教員の方々が参加してくれた。
地域への働きかけ	働きかけた地域の人・機関名	藤山コミュニティ推進協議会
	どのように働きかけたか	講演会のパンフレットの配布、ポスターの貼り出し
	結果	講演会、防犯劇に多数の保護者が参加してくれた。
保護者・PTA への働きかけ	働きかけた保護者・PTA 組織名	父母の会
	どのように働きかけたか	講演会、防犯劇の参加を直接呼びかけてもらう。 家庭で防犯の訓練をしていただき、親子で話をしてもらうようにした。
	結果	講演会、防犯劇に多数の保護者が参加してくれた。 家庭で腕をはずす練習や声の出し方、最近の事件をもとに どうやって身を守るかを話し合うようになってくれた。

2007 年度 防災教育 チャレンジプラン 最 終 報 告 書

機材・教材の準備方法	用意した機材・教材	訓練：さすまた、警棒、防犯ベル、 教材：防犯 DVD、防犯紙芝居、防犯カルタ
	入手先・入手方法	訓練：三栄商事、きんすい（ナショナル）購入 教材：ジャクエツ、山口子どもとも（学研）購入
	機材教材の選定理由	訓練：実際に不審者を想定した訓練に必要なため。 教材：国崎伸江先生の教材で年齢的にも 3～5 歳児くらいでわかりやすく丁寧に解説してあるため。
参加者の募集	募集方法	講演会：父母の会による参加者の直接募集、藤山小学校・藤山コミュニティにチラシを配布してもらったり、ポスターを掲示してもらい、HP での広告をおこなった。 元気キッズフェスタでの防犯劇：ポスターの貼り出しや HP での広告、保護者へのチラシの配布。 クリスマス会の防犯劇：HP での広告、保護者へのクリスマス会案内の配布（園だより）。
	募集期間	それぞれ 3 週間前より
	参加予想人数	講演会：保護者 70 名 元気キッズ：160 名（保護者 40 名） クリスマス会：130 名（保護者 15 名）
	実際の参加人数	講演会：保護者 50 名 元気キッズ：170 名（保護者 50 名） クリスマス会：140 名（保護者 20 名）
	募集方法の成功点	自分の子どもがでるとよく集まる。
	募集方法の失敗点	駐車場のことを考えて講演会は人数を呼ぶのを控えてしまい、予想参加数を下回った。
	準備で苦労した点 工夫した点	○講演会：行うのが初めてでしたので、すべてのことが手探りの状態で場所の確保、人集めなどに苦慮した。 ○元気キッズ防犯劇：人集めは HP とポスター、チラシでおこない当園の園児ではない子どもを中心に考えておこない、予想以上の人数が集まり少しせまくなったが冷房などの温度調整をこまめに行い対応。山口こども夢プロジェクトの劇も一緒に行い新聞等のメディアもきてくれたので盛り上がった ○クリスマス会防犯劇：人集めは当園の園児中心でおこない劇の内容に音楽等や腕はずし等組み入れ改良した。

2007年度防災教育チャレンジプラン 最終報告書

4. タイムスケジュール

	プラン立案	実践にあたっての準備	実践
2007年 5月	不審者対応訓練 1回目	難しい対応ではなく見て明らかに不審者の格好をしてさすまたやロープを使い対応するようにする。	不審者対応訓練
2007年 6月			
2007年 7月	運動会防犯障害走	タッチ&ゴーや腕はずしなどを障害走に組み込み練習 日常にだるまさんころんだやハンカチ落としなどの瞬発力、判断力を鍛えたり、自分の身を守るスキルを教えていく。	10/7 秋の大運動会
2007年 8月	国崎先生講演会 準備	藤山小学校、にパンフレットとポスター配布、校長先生に防犯啓発と配布依頼。 藤山コミュニティ-推進協議会に防犯の現状を話し合い。 パンフレット、ポスターの配布を依頼。	9/8 国崎信江先生 講演会「子どもを守るために」
2007年 9月	国崎先生講演会 防犯劇練習開始	講演会会場準備等、指導を受けるための勉強。 防犯劇の脚本、構成、立案劇の練習	9/8 国崎先生との防犯劇に関する指導、防犯劇練習開始
2007年 10月	10/27 元気キッズ&ファミリーフェスタ防犯劇	劇の練習、仕上げ HPでの広報やポスターとプリントなどの配布	10/27 元気キッズ&ファミリーフェスタ防犯劇
2007年 11月	第二回目の防犯劇練習	不審者らしき人と不審者を見分ける少し難しい訓練。	第二回目の防犯劇練習

2007年度防災教育チャレンジプラン 最終報告書

2007年 12月	第二回防犯劇	劇の練習、仕上げ HPでの広報や張り出し、園 便りなどの配布	12/21 誕生会&クリスマス会で上演
2008年 1月	防災、防犯カル タ大会	防犯カルタを購入 日頃の遊びの中カルタの練 習をする。 カルタをしながら防犯につ いて話し合う。	1/12 防災、防犯カルタ大会

2007年度防災教育チャレンジプラン 最終報告書

5. 実践の詳細【A. 素材】 (メインとなる活動を45分1コマとして記入してください)

タイトル	国崎信江先生 講演会 「子どもを犯罪から守るために」		
実施日	平成19年9月8日(土) AM10:00~PM3:00 (講演会はAM10:00~AM11:30まで)		
所要時間	45分	45分	60分
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ○不審者の固定観念の払拭 ○今の自分達の周りの環境状況を的確に把握する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもがどうすれば不審者を見分けられるようになるか方の法を理解する。 ○実際に身を守るための方法を知る 	<ul style="list-style-type: none"> ○国崎先生に防犯劇についての指導を受けて、どうすればわかりやすく子どもたちや保護者に伝えられるか考える。
生成物			
進め方 (箇条書き)	○防犯の現状説明	○身を守る方法の説明と実践	○防犯劇作成の進め方
ツール (特別に用意したもの)	マイク、表彰台、レジュメ ビデオカメラ、ビデオデッキ	マイク、表彰台、レジュメ ビデオカメラ、ビデオデッキ	ビデオ、サスマタ、椅子
場所	藤山保育園二階遊戯室		きく組保育室

2007年度防災教育チャレンジプラン 最終報告書

5. 実践の詳細【B. イベント】 (メインとなる活動を45分1コマとして記入してください)

タイトル	藤山保育園防犯劇 「あかずきんとしろずきん」	
実施日	平成19年10月27日 元気キッズ&ファミリーフェスタ 平成19年12月21日 クリスマス会	
所要時間	20分	20分
達成目標	防犯の実情を知ってもらおう。 子どもにわかるように見せられるか。	防犯の実情を知ってもらおう。 子どもにわかるように見せられるか。
生成物	防犯劇DVD	防犯劇DVD クリスマスVer
進め方 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ○司会により今の防犯に関する現状を把握してもらおう。 ○子どもが外を歩く時の注意 ○車で近づいてきた場合の注意 ○家に子どもだけでいたときの対応 	<ul style="list-style-type: none"> ○司会により今の防犯に関する現状を把握してもらおう。 ○子どもが外を歩く時の注意 ○車で近づいてきた場合の注意 ○自分の身を守る方法 ○家に子どもだけでいたときの対応
ツール (特別に用意したもの)	マイク、衣装、段ボールハウス等、ビデオカメラ、照明器具、ゴザ、パイプ椅子	マイク、衣装、段ボールハウス、ビデオカメラ、照明器具、ゴザ、パイプ椅子
場所	藤山保育園二階遊戯室	

2007年度防災教育チャレンジプラン 最終報告書

5. 実践の詳細【C. 総合的な学習時間】 (メインとなる活動を45分1コマとして記入してください)

タイトル	防犯劇作成から実行まで		
実施日	平成19年8月～平成19年12月まで		
所要時間	練習時間 25分×20 劇の上演時間 20分		
達成目標	防犯劇の概要 台本作成	防犯劇の流れを掴む 重要な場所を理解する	防犯劇練習 わかりやすく伝えられるように練習 実践でメッセージを的確に伝えられるようになる
生成物	台本		
進め方 (箇条書き)	○台本作成 ○役選び ○セリフあわせ ○流れを掴む	○台本作成 ○役選び ○セリフあわせ ○流れを掴む	○子どもが外を歩く時の注意 ○車で近づいてきた場合の注意 ○自分の身を守る方法 ○家に子どもだけでいたときの対応
ツール (特別に用意したもの)	あかずきんの本 防犯DVD	大道具、小道具、衣装	大道具、小道具、衣装
場所	藤山保育園 二階遊戯室	すみれ組教室	藤山保育園二階遊戯室

**2007年度防災教育チャレンジプラン
最終報告書**

2007年度防災教育チャレンジプラン 最終報告書

6. 実施後

参加者へのアンケート結果	アンケートとして集計はしていない。	
成果として得たこと	<p>保育士一人一人が防犯に対する意識を高められたと思う。</p> <p>園児、保護者ともに自分の身をどう守ればいいのか？や家でのお互いの話の中でも防犯に関する話が出るようになり、防犯に対する意識が全体的に高くなったように思う。</p>	
成果物	<p>防犯劇に関するノウハウがだいぶ固まりつつある。</p> <p>園児や保護者が自分の身をどうやって守ればいいのか考えてくれるようになった。</p> <p>保育士一人一人が園児を守るスキルを身につけていきました。</p>	
広報方法	広報した先	藤山小学校、藤山コミュニティ推進協議会、藤山保育園
	広報の方法	ポスター、チラシ、HP、貼り出し、園だより、宇部日報
	取材に来たマスコミ	10/27 宇部日報
	広報された内容	9/8 国崎信江先生講演会 10/27 元気キッズ&ファミリーフェスタ 12/21 クリスマス会
	成功点	防犯劇は予想以上の保護者、教育関係者が来園してくれた。
	失敗点	講演会に関しては駐車場のことを考えて呼ぶ人数を抑えてしまったこと。

2007年度防災教育チャレンジプラン 最終報告書

<p>全体の感想と反省・課題</p>	<p>広報に関してはもっと効果的な方法があったのではないかと思う。 防犯劇に関しては子どもたちに対してどのように不審者を判断するかが課題で、できるだけシンプルに大人に対して不信感を植え付けないような方法を模索することに大変苦労した。</p> <p>その場から連れ去ろうとする人は=あやしい人という設定でシンプルに分かり易くしたがまだまだ疑問の残るところがあるので改良する必要がある。</p> <p>最後にこの防犯に取り組むことによって子どもたちや保護者の方々が自分の身を守るためにどうせればいいか？自分の子どもを守るためにどうすればいいか？を考えてくれるようになり、防犯に対する意識が高まっていくのを肌で感じる事ができて本当に苦労した甲斐があったと思いました。</p>	
<p>今後の予定</p>	<p>来年度以降の取り組み方</p>	<p>防犯劇の定期的におこない、防犯に対する意識が風化したいようにする。</p>
	<p>ぜひ実施してみたい取り組み</p>	<p>保育園の場所が厚東川という昔から氾濫の多いところで、保育園の場所も0メートル地帯であることから台風などの災害に関する事柄にも取り組みたい。</p>

2007年度防災教育チャレンジプラン
最終報告書

自由記
述



5/15 不審者対応訓練



9/8 国崎伸江先生講演会



腕はずし練習



運動会 タッチ&ゴー練習



10/8 運動会防犯障害走



タッチ&ゴー

2007年度防災教育チャレンジプラン
最終報告書



10/27 元気キッズ 防犯劇



あかずきんとしろずきん



2007年度防災教育チャレンジプラン 最終報告書



12/17 ALSOK防犯教室



さすまた&腕ひねり



1/12 防犯カルタ大会



**2007年度防災教育チャレンジプラン
最終報告書**